

構造改革特別区域計画

1 構造改革特別区域計画の作成主体の名称

茨城県つくば市

2 構造改革特別区域の名称

つくば市教育特区

3 構造改革特別区域の範囲

茨城県つくば市の全域

4 構造改革特別区域の特性

つくば市は、茨城県南西部に位置し、県庁所在地の水戸市から南西約 50 km、首都東京から北東約 50 km、新東京国際空港（千葉県成田市）から北西約 40 km の距離に位置し、北には水郷筑波国定公園に指定されている関東の名峰筑波山がそびえ、東には我が国第 2 の湖霞ヶ浦が広がっている。

また、本市は、科学技術の振興と高等教育の充実を目標に建設された筑波研究学園都市を構成するまちとして、市内に国立大学法人筑波大学をはじめ 3 つの大学、独立行政法人等官民あわせて約 300 の研究機関が立地し、約 12,000 人の研究者、約 7,200 人（130 の国と地域）の外国人が生活する国際科学技術都市である。近年は、東京（秋葉原駅）とつくばを 45 分で結ぶつくばエクスプレスの開通に伴う沿線開発および首都圏中央自動車道の建設など、新たな都市基盤の整備が進められている。

このような背景にあって、市の人口構成を見ると、市の南部（旧谷田部町地区）、北部（旧筑波町地区）地域では、人口の増減の変化や構成比に大きな相違が出てきている。（下表参照。）

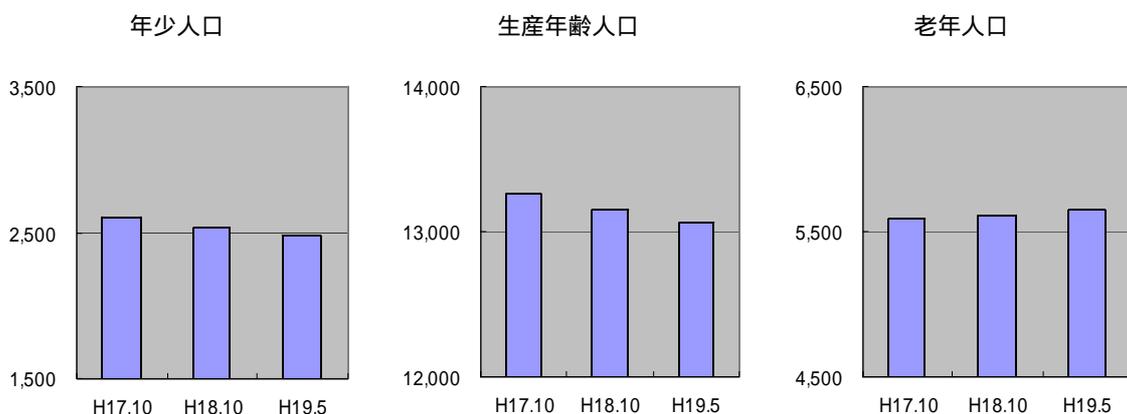
つくばエクスプレス沿線開発を中心に、人口が増加傾向にある南部地域は高齢化率も低く、一方、筑波山をはじめとする豊かな自然環境を残している北部地域では、人口の減少傾向、少子高齢化が顕著となってきた。

このことは、つくば市の教育環境に及ぼす影響も大きく、北部地域では、す

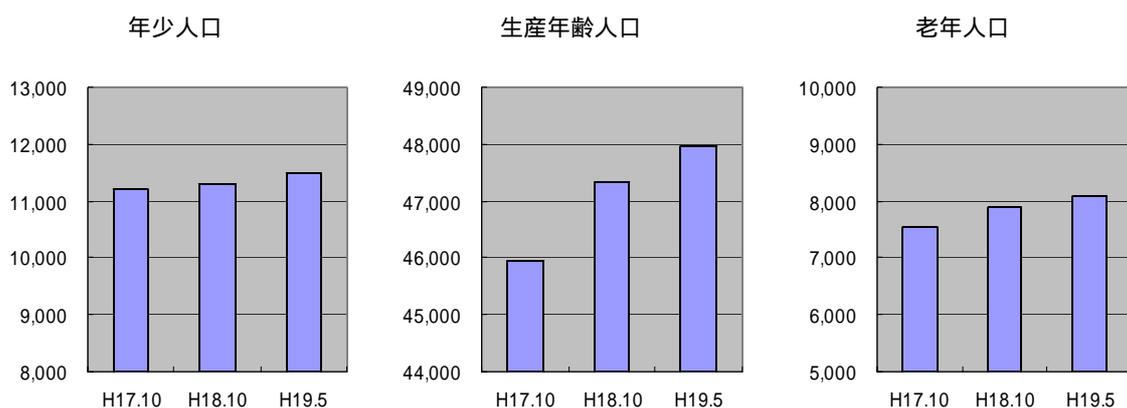
でに小学校1校が廃校となり、かつ新たな廃校や学区の統合、見直しが緊急の課題となっている。

一方、南部地域では、人口の急激な増加に伴う校舎の増築や新設校の整備が進められているほか、研究機関の集積、多くの研究者が生活するまちとして、教育に対する市民の関心も非常に高く、国際性を養う教育、とりわけインターナショナルスクールやイマージョン教育に対するニーズも高まっている。

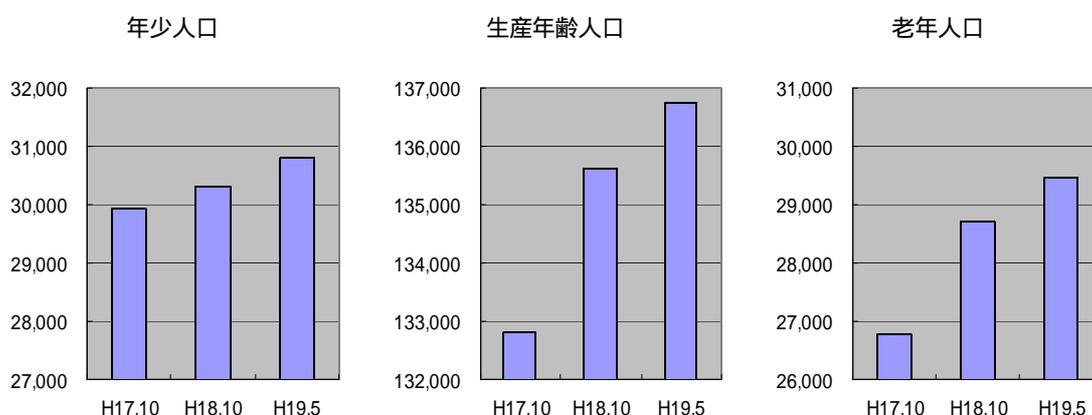
旧筑波町地区（北部地域）



旧谷田部町地区（南部地域）



つくば市総計



5 構造改革特別区域計画の意義

近年、全国的に不登校生徒や中途退学者の増加が問題となっているが、つくば市においても例外ではない。特に、直近の三ヶ年の推移を見ると、市内小・中学校合わせて、年間20人前後の不登校生が増加している状況である。（下表参照）

なお、高等学校については、全国的な傾向を見ると、不登校生が在籍生徒数の1.65%にあたる59,419人、うち28,153人が中途退学、原級留置（平成17年5月1日付）となっている。

市では、これまでに教育相談センターの設置やスクールカウンセラー、スクールサポーターを配置し、電話相談、面接相談等不登校やいじめなどの生徒指導上の問題解決に対応しているが、不登校に対する相談が年間2,640件と非常に多い状況となっている。

こうした不登校の問題解決に向けては、その原因が「学校生活上の影響」、「無気力」、「不安など情緒的混乱」によるものが多く、児童・生徒一人ひとりの心のケアには、長い日数を要することもある。

本市は、このような問題に対して、将来の担い手である若者に、意識変革の機会を与え、一人ひとりのもつ能力と可能性を更に高め、自立するための教育環境を提供することが重要と考える。

その一つの受け皿として、単位制広域通信制高等学校が果たす役割も重要である。前述した本市の特性である筑波山をはじめとする豊かな自然環境、古より受け継がれている歴史や文化、筑波研究学園都市としての最先端の科学技術や豊富な人材を、株式会社立の単位制広域通信制高等学校という教育環境でう

まく活用することで、他に例のない教材の提供が可能である。

つくば市における不登校生徒数の推移

	小学校	中学校	計
H17.10	45	102	147
H18.10	38	125	163
H19.5	51	145	196

「学校基本調査（各年10月）」より

全国の高等学校における理由別長期欠席者数

在籍者数（人）	理由別長期欠席者数				計
	不登校	経済的理由	病気	その他	
3,596,820	59,419	4,078	16,170	27,754	107,421
構成比（％）	1.65	0.11	0.45	0.77	2.99

（平成17年5月1日付）

「平成17年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」より

6 構造改革特別区域計画の目標

本市は、構造改革特区制度である「学校設置会社による学校設置事業（816）」の特例を適用することで、豊かな自然環境、古からの歴史や文化の継承、研究学園都市としての最先端の科学技術、豊富な人材等を活かした教育環境を最大限に活用し、市内教育環境の向上並びに多くの若者に、市の特性である筑波研究学園都市という教育フィールドを提供する。

本計画により設置を予定している単位制広域通信制高等学校では、つくばエクスプレスという交通基盤と前段の本市の恵まれた教育環境を活かして、主に全国的な問題となっている不登校生等に対して、筑波研究学園都市という教育フィールドを通じた「学ぶことの大切さの再認識」や「社会観・職業観を身につける」教育目標を実現する。

具体的には、集中スクーリング、課題研究等において、つくばのポテンシャルである研究機関の集積と充実した見学施設等を活用したカリキュラムを実践することで、生徒の資質の向上、生徒一人ひとりの興味、可能性を引き出し、また、研究者等との触れ合いの中で、社会観・職業観を醸成する。

もう一方のポテンシャルである豊かな自然環境とそこに育まれてきた歴史、文

化及び伝統芸能、あるいは各分野で活躍するエキスパートとの関わりを持ち、教育課程の中で実践することで、つくばへの愛着を醸成するとともに、生徒一人ひとりが人間性に富んだ人格形成、学ぶことの大切さを再認識する。

7 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

(1) 学校設置による社会的効果

つくばらしい学習カリキュラムの提供による各種資源の発掘

通常の学校になじめない不登校生等に柔軟に対応した教育、具体的には、市内にある多くの研究機関等見学施設、研究者等人材の活用や農業等各種体験、地元につながる伝統芸能、催事等への参加を通じて、生徒一人ひとりの可能性、興味を引き出し、得意分野を伸ばすことで、社会観、職業観の醸成を図る取り組みは、市内の人的、物的資源の掘り起こしが可能となる。

また、市内の研究者や各種技術者等が教育現場への関わりをもつことにより、生きがいや社会貢献を見出す最良の機会となる。

ボランティア活動等の活性化

単位制広域通信制高等学校が実施する集中スクーリングの際に、地域の活動団体や社会経験豊富な方の指導の下、通常の教科授業では学べない筑波山の清掃や観光ガイド等ボランティア活動を通じて、社会貢献をはじめ、地元住民との交流の絆を深め、思いやり、人間性豊かな人材育成を図るとともに、各種ボランティア活動、市民活動の活性化、好展開が期待できる。

学校設立による周辺地域活力の向上

単位制広域通信制高等学校の設置予定場所の周辺地域は、少子高齢化が進み、かつ筑波山観光拠点である地域環境を有し、集中スクーリング等若者が登校することにより、地域活力の向上や観光誘因につながる。

(2) 学校設置による経済的効果

地元人材の雇用の創出

前述のとおり、本市が持つ様々な人的資源を活用することで、特色あるカリキュラムが可能となり、研究者OBや農業等技術・経験を有するなど、様々なエキスパート人材等雇用の確保が図れる。

学校の開設、スクーリングの実施に伴う地域経済の活性化

単位制広域通信制高等学校開設による教職員の勤務、スクーリング実施に伴う生徒・保護者等関係者が当地に集まることにより、周辺宿泊施設をはじめ周辺観光施設、飲食店等店舗の消費拡大及び公共交通機関の利用等による地域経済の活性化が見込まれる。

計画年度(見込み)	スクーリング参加者数	通学生徒数
平成 20 年 度	500 人	うち 5 人
平成 21 年 度	1,000 人	うち 10 人
平成 22 年 度	1,500 人	うち 15 人

注「通学生徒数」: スクーリングをはじめ通年で直接当該学校に通学が見込まれる生徒数

計画年度(見込み)	教員数(常勤)	事務職員数
平成 20 年 度	5 人	1 人
平成 21 年 度	6 人	2 人
平成 22 年 度	8 人	2 人

ただし、校長を除く

8 特定事業の名称

「学校設置会社による学校設置事業(816)」

9 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業に関連する事業その他構造改革特別区域計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

「つくば科学出前レクチャー」

市内に存する研究機関や民間研究所の研究者が、学校等からの要請に応じて、講義等を開催し、児童生徒の科学への関心を深め、科学する心を育む。

「つくばちびっ子博士事業」

市内に存する研究機関や民間研究所を児童生徒に公開することで、科学技術への関心を高め、夢と希望に満ちた未来を考える手がかりになることを目的としている。特性パスポートを持参し、期間内に、市内研究機関等協力施設

を見学するスタンプラリー。

「科学技術週間における市内研究機関の一般公開」

市内研究機関等が科学技術週間にあわせ、広く一般公開を行う。

「つくば科学フェスティバル」

市内研究機関等の日本を代表する科学者と、市内教育機関等の教職員が科学イベントを開催し、子どもたちに科学技術に対する関心を高め、夢と希望に満ちた未来を考える手がかりになることを目的としている。

(別紙)

1 特定事業の名称

816 学校設置会社による学校設置事業

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

単位制広域通信制高等学校である東豊学園つくば松実高等学校(仮称)を設置する株式会社つくば東豊学園

3 当該規制の特例措置の適用の開始の日

構造改革特区計画の認定を受けた日

4 特定事業の内容

(1) 事業に関する主体

単位制広域通信制高等学校である東豊学園つくば松実高等学校(仮称)を設置する株式会社つくば東豊学園

(2) 事業が行われる区域

つくば市の全域

(3) 設置位置

校地：校舎：茨城県つくば市筑波1002番地

(元つくば市立筑波第一小学校)

宿泊施設：市の施設を利用：「筑波ふれあいの里」、「ゆかりの森」

他筑波山民間ホテル等

「筑波ふれあいの里」

敷地面積 12,100 m²

建物延床面積 1,399.8 m²

施設諸言：草木染体験施設、そば打ち体験施設、農園等併設

「ゆかりの森」宿舎あかまつ

敷地面積 119,362 m²

建物延床面積 1,159 m²

施設諸言：昆虫館、工芸館、キャンプ場等併設

筑波山旅館組合(つくばグランドホテル他4軒)

(4) 事業の開始時期

平成20年4月1日

(5) 事業により実現される行為や整備される施設などの詳細

株式会社つくば東豊学園を通信制広域単位制高等学校の設置主体として認め、これを受け、学校設置認可手続きを行い、その後、活用する校舎の耐震等改修工事、生徒募集、教職員採用及び研修等開校に必要な準備を進める。

なお、学校の施設概要は以下のとおりである。

校舎、校地：元つくば市立筑波第一小学校

敷地面積 5,273 m² (うち運動場用地 1,465 m²)

延床面積 管理棟 750 m²、教室棟 454 m²、体育館(屋内運動場) 610 m²、
プール・附属棟 142 m²

(6) 教育課程表について

別紙2「教育課程表」のとおり

5 当該規制の特例措置の内容

(1) つくば市に存在する教育上の特別なニーズ

本市の北部地域は、筑波山をはじめ豊かな自然、伝統文化や歴史に彩られ、多くの人的・物的資源の豊富な地域で、筑波山南麓に広がる研究学園都市地区との調和したまちづくりが進められている。近年、筑波山への観光客数は増加しているものの、人口の減少、少子高齢化が進み、地元市民の交流拠点であり、地域のシンボリックな存在である筑波第一小学校が廃校になるなど、今後の地域づくりに大きな課題となっている。

また、本市では、未来を担う子どもたちへの教育は、最重要施策として掲げ、「夢・感動のある楽しい学校」を目標に、「やさしさ」、「しなやかさ」、「たくましさ」をもった児童・生徒の育成に取り組んでいる。このような中で、何らかの理由で年間30日以上学校を欠席する児童、生徒数が増加する傾向にあり、深刻な課題となっている。

本特区計画において設置する単位制広域通信制高等学校は、本市の豊かな自然環境、伝統文化及び歴史、または研究学園都市としての知的資源、人材を活用し、生徒一人ひとりの学習ニーズに対応した教育、体験学習を実施しながら、人間性豊かな人材育成を目指すとしており、市の方針にも合致すると考える。

(2) 株式会社つくば東豊学園の設置する学校が、当該ニーズに対応する教育を行うことが適切かつ効果的であると認めた理由

本計画により設置される単位制広域通信制高等学校は、これまで不登校生、中途退学者への高等教育を目的とした学校法人設置の技能連携校で培った経験を蓄積している。

さらに、当該学校は、不登校など通常の学校に適応しにくい生徒に対し、個人の能力、可能性を引き出すことに重点を置いたきめ細かい指導を実施し、また体験学習等の教育については、本市の豊かな自然や施設等の活用など筑波研究学園都市のフィールドを十分に活用することを前提に計画されており、株式会社として、より機動的に、迅速に対応できると判断した。

本計画の実施に向け、市から有償貸与することとしている校舎等のリニューアルも確実な実施が見込めるとともに、地域住民との連携や協力体制の構築にも一定の理解が得られている。

一定の要件

ア 資産要件

校舎の確保については、株式会社つくば東豊学園に、つくば市が所有する旧筑波第一小学校校舎の校地、校舎を有償で長期的に貸し付けることにより、教育上の支障は生じない。(貸付期間:20年予定)

また、運営財産については、会社の資本金、運営資金の確保を定款及び残高証明により確認しており十分に対応できるものと判断した。

イ 学校経営を担当する役員に学校経営の知識又は経験があること

当該学校の経営を担当する役員には、自動車業界等へ優秀な技術者を輩出している学校法人中央技術学園で15年以上、不登校生、中途退学者に対する技能連携教育に携わっている者が複数参画しており、十分な知識、経験がある。

また、当該株式会社の設立者で代表取締役の豊島庸市氏は、学校法人中央技術学園の副理事長を20年以上勤める実績を持ち、学校経営に十分な知識と経験を有する。

加えて、学校長には、公立高等学校長経験者で、地元精通した者を予定していることから、学校教育に関する知識、経験を十分補完できると判断した。

ウ 役員に社会的信望があること

設置会社の代表取締役豊島庸市氏は、我孫子市議を現在6期勤めており、その間副議長、教育福祉常任委員長を経験している。特に、教育・福祉分野への関心も高く、特別養護老人ホーム、保育園運営にも参画の経験があり、社会的な信望は十分である。

情報公開について

情報公開にあたっては、当該学校への入学希望者が適切に学校を選択できるよう、また、学校の教育の質や適正な運営等を担保するため積極的に情報公開を行う。学校設置会社が備えるべき業務状況書類等（貸借対照表、損益計算書、事業報告書）は、電磁的記録等により毎事業年度終了後三月以内に作成し、三年間当該学校及び学校ホームページ等において積極的に公開することとしている。

また、上記書類をはじめ、公開が必要であると考えられる情報については、全てホームページ等を活用して公開していく。

（3）つくば市の責務

審議会

本市は、行政の適正性、公正性、専門性を確保する観点から、当該学校設置会社の設置する学校の認可又は命令、あるいは学校設置会社の設置する学校の教育、組織及び運営並びに施設及び設備の状況の評価に係る事項を調査審議する「つくば市教育特区学校審議会」を、本年10月、設置するため、平成19年9月市議会定例会に上程している。

審議会の構成は、その機能を十分に果たせるよう、教育関係有識者、公立又は私立の学校関係者及び経営の知識を有する者等とする。本特区の認定後、速やかに審議会を開催し、当該単位制広域通信制高等学校の設立認可について審議を行うものとする。

なお、設立認可については、短期間で審議を行うことになるが、十分な審議が可能であると判断した。

セーフティネット

つくば市は、事業の円滑かつ確実な経営状況の把握に努めるとともに、適切な就学ができるよう市の内部に担当部署並びに担当者を配し、常日頃から他の単位制広域通信制高等学校等の転学に関する情報収集、協力要請を積極的に行う。

万一、学校経営に著しい支障を生じた、又は生ずるおそれがある場合には、

在校生の適切な就学を維持することができるよう、つくば市が特区計画の策定・実施に責任を有する立場として、その教育、学校経営等の状況を適切に把握しつつ、学校設置会社に協力校等生徒の受け入れについての協定を締結させるとともに、協定が機能するよう定期的な確認を行うなど、積極的に当該学校や関係機関等との連携を図る。

具体的には、在校生や保護者に適切な情報提供を行うため、当該学校の設置認可者として、学校及び学校設置会社を監督する担当部署において、転学先について在校生の立場にたった情報収集・指導を学校設置会社と連携を図り適切な措置を講じることとする。

また、当該学校においては、在校生から転学希望を聴取したうえで、転入学が可能な転学先との連携、情報交換などを積極的に行う。

評価

つくば市では、市独自に設置した「つくば市教育特区学校審議会」において、学校の教育、組織及び運営並びに施設及び設備の状況等について、年1回以上の学校評価を、書類及び実地で実施する。

なお、具体的評価については、学校教育法、設置基準、学習指導要領等を踏まえ、学校経営の公共性、継続性、安定性の観点から、学校経営面、教育研究面の状況について適切に評価するために、特区認定後、審議会において必要な評価項目の設定を行う。現在想定している具体的評価項目は以下のとおりである。

(学校経営面)

- ・構造改革特別区域法台12条第3項に規定する業務状況書類等の具備並びに公開の状況
- ・文部科学省令で定める基準に適合する施設、設備の整備状況
- ・学校の運営資金の確保及び資産の状況
- ・事業計画(各年)に対するその達成状況

(教育研究面)

- ・地元人材並びに物的資源の活用の状況
- ・生徒指導方針の確認と指導体制の状況
- ・進路指導における体制の整備及び社会観・職業観の育成に向けた取り組み状況
- ・教職員の資質の向上に向けた取り組みの状況
- ・スクーリングの内容、創意工夫等その実施状況
- ・教育課程の達成状況

(その他)

- ・周辺地域の人々との関わりや関連事業への参画の状況

別紙2 教育課程

[履修要領]

1. 必履修の各教科・科目を含め、74単位以上を履修し、修得しなければならない。
ただし、履修できる単位数は1年次生では35単位以内、2年次生では既修得単位を通算して70単位以内とする。
 2. . . のある各教科・科目については、 を履修しなければ、 を履修することはできない
 3. 他の高等学校において履修し、修得済みの各教科・科目をもって、本校での履修・修得に替えることができる。
 4. 以上には、本校において履修・修得したものとみなされる各教科・科目を含むものとする。
 5. 他の高等学校での在学期間を通算し、履修期間は3年以上とする。
- <必履修の教科・科目、単位>
1. 次の表の各教科・科目は必履修とし、すべての生徒が履修せねばならない。
 2. 履修単位数は、次の表の単位数を下ってはならない。

教科	科目	履修単位	
国語	国語総合	4	
地理歴史	世界史A	2	
	日本史B	4	このうちから1科目
	地理B	4	
公民	現代社会	2	「現代社会」または「倫理」・「政治・経済」
	倫理	2	
	政治・経済	2	
数学	数学	3	
理科	理科総合A	2	
	生物	3	
保険体育	体育	7	
	保健	2	
芸術	美術	2	このうちから1科目
	書道	2	
外国語	オーラルコミュニケーション	2	このうちから1科目
	英語	3	
家庭	家庭基礎	2	
情報	情報A	2	このうちから1科目
	情報B	2	
総合的な学習の時間		3	

3. 他において履修済みの教科・科目のうち、次の表の教科・科目は本校における必履修教科・科目の履修に替えることができる。

教科	他において履修済みの科目	代替できる科目
国語	国語表現	国語総合
地理歴史	世界史B	世界史A
	日本史A	日本史B
	地理A	地理B
数学	数学基礎	数学
理科	理科基礎・理科総合Bのいずれか	理科総合A
	物理・化学・地学 のいずれか	生物
芸術	音楽・工学 のいずれか	美術・書道 のいずれか
家庭	家庭総合・生活技術のいずれか	家庭基礎
情報	情報C	情報A・情報Bのいずれか

< 選択履修の教科・科目、単位 >

1. 次の表の各教科・科目は、選択履修するものとする。

教科	科目	履修単位	
国語	国語表現	2	
	国語表現	2	
	現代文	4	
	古典	4	
	小論文	2	
	文学史	2	
地理歴史	世界史B	4	
	日本史B	4	このうち選択必修で選択履修しなかった1科目
	地理B	4	
公民	現代社会	2	
	倫理	2	
	政治経済	2	
数学	数学基礎	2	
	数学	4	
	数学A	2	
理科	理科総合B	2	
	物理	3	
	化学	3	
芸術	美術	2	このうち選択必修で選択履修しなかった1科目
	書道	2	
	書道	2	
外国語	オーラル・コミュニケーション	2	このうち選択必修で選択履修しなかった1
	英語	3	
	英語	4	
家庭	家庭総合	4	
情報	情報A	2	このうち選択必修で選択履修しなかった1科目
	情報B	2	
商業	ビジネス基礎	3	
	商品と流通	3	
	経済活動と法	3	
	簿記	3	

< 特別活動 >

1. 特別活動には、ホームルーム・クラブ活動・学校行事（儀式的行事・文化的行事・体育的行事）があり、毎年別に計画し実施する。
2. 特別活動には、在学期間を通算して30時間以上参加しなければならない。

面接指導時間数及び添削指導回数表

教科	科目	単位数	添削指導		面接指導	
			1 単 位 当 たり 添 削 指導回数	添削指導回数	1 単 位 当 たり 面 接 指導時間 数	面接指導時 間数
国語	国語表現	2	3	6	1	2
	国語表現	2	3	6	1	2
	国語総合	4	3	12	1	4
	現代文	4	3	12	1	4
	古典	4	3	12	1	4
	小論文	2	3	6	3	6
	文学史	2	3	6	1	2
地理歴史	世界史A	2	3	6	1	2
	世界史B	4	3	12	1	4
	日本史B	4	3	12	1	4
	地理B	4	3	12	1	4
公民	現代社会	2	3	6	1	2
	倫理	2	3	6	1	2
	政治・経済	2	3	6	1	2
数学	数学基礎	2	3	6	1	2
	数学	3	3	9	1	3
	数学	4	3	12	1	4
	数学A	2	3	6	1	2
理科	理科総合A	2	3	6	4	8
	理科総合B	2	3	6	4	8
	物理	3	3	9	4	12
	化学	3	3	9	4	12
	生物	3	3	9	4	12
保健体育	体育()	3	1	3	5	15
	体育()	2	1	2	5	10
	体育()	2	1	2	5	10
	保健	2	3	6	1	2
芸術	美術	2	3	6	4	8
	書道	2	3	6	4	8
	書道	2	3	6	4	8
外国語	オーラルコミュニケーション	2	3	6	4	8
	英語	3	3	9	4	12
	英語	4	3	12	4	16
家庭	家庭基礎	2	2	4	2	4
	家庭総合	4	2	8	2	8
情報	情報A	2	2	4	2	4
	情報B	2	2	4	2	4
	ビジネス基礎	3	2	6	2	6

総合的な学習の時間	3	1	3	2	6
-----------	---	---	---	---	---

〔総合的な学習の時間〕

筑波山神社を中心として発展してきた町であり、伝統の行事も多い。これら伝統行事への参加や、周辺地域の清掃活動等に参加することで、地域の歴史を理解するとともに、地元の方とともに活動することで、人との協調性や触れ合いの大切さを育むことを目指す。

筑波山で行われる年中行事への参加

周辺地域の諸活動への参加

市の特産農作物の農業体験や様々な最先端技術を体験することで、「学ぶこと」、「働くことの必要性」そして「楽しさ」を感じ、夢や希望へ向けて将来設計の構築が出来る力を養うことを目指す。

特産筑波北条米をはじめとした季節ごとの農業体験

筑波研究学園都市の各種研究施設を利用した最先端技術セミナー

〔技能連携生用〕専門に関する各教科・科目の履修は24単位以内とする。

商業実務コース			工業技術コース		
			機械・電気・自動車・建築・土木・化学・デザイン		
教科	科目	単位数	教科	科目	単位数
商業	ビジネス基礎	2～6	工業	工業技術基礎	2～6
	課題研究	2～10		課題研究	2～10
	総合実践	2～6		実習	2～10
	商品と流通	2～6		製図	2～6
	商業技術	2～6		工業数理基礎	2～6
	マーケティング	2～6		情報技術基礎	2～6
	英語実務	2～6		材料技術基礎	2～6
	経済活動と法	2～6		生産システム基	2～6
	国際ビジネス	2～6		工業技術英語	2～6
	簿記	2～6		工業管理技術	2～6
	会計	2～6		機械工作	2～6
	原価計算	2～6		機械設計	2～6
	会計実務	2～6		原動機	2～6
	情報処理	2～6		電子機械	2～6
	ビジネス情報	2～6		電子機械応用	2～6
	文書デザイン	2～6		自動車工学	2～6
	プログラミング	2～6		自動車整備	2～6
	24単位以内選択			電気基礎	2～6
				電気機器	2～6
				電力技術	2～6
				電子技術	2～6
				電子回路	2～6
				電子計測制御	2～6
				通信技術	2～6
				電子情報技術	2～6
				プログラミング技術	2～6
				ハードウェア技	2～6
				ソフトウェア技	2～6
				マルチメディア	2～6
				応用	
				建築構造	2～6
				建築施工	2～6
				建築構造設計	2～6
				建築計画	2～6
				建築法規	2～6
				設備計画	2～6
				空気調和設備	2～6
				衛生・防災設備	2～6
				測量	2～6
				土木施工	2～6
				土木基礎力学	2～6
				土木構造設計	2～6
				社会基盤工学	2～6
				工業化学	2～6
				化学工業	2～6
				地球環境化学	2～6
				材料製造技術	2～6
				工業材料	2～6
				材料加工	2～6
				セラミック化学	2～6
				セラミック技術	2～6
				セラミック工業	2～6
				繊維製品	2～6
				繊維・染色技術	2～6
				染織デザイン	2～6
				インテリア計画	2～6
				インテリア装備	2～6
				インテリアエレ	2～6
				メント生産	
				デザイン史	2～6
				デザイン技術	2～6
				デザイン材料	2～6
				24単位以内選択	

家庭・調理コース			芸術コース			
服飾・保育・調理・美容・理容			音楽・美術			
教科	科目	単位数	教科	科目	単位数	
家庭	生活産業基礎	2～6	音楽	音楽理論	2～6	
	課題研究	2～10		音楽史	2～6	
	家庭情報処理	2～6		演奏法	2～6	
	消費生活	2～6		ソルフェージュ	2～6	
	発達と保育	2～6		音楽	2～6	
	児童文化	2～6		器楽	2～6	
	家庭看護・福祉	2～6		作曲	2～6	
	リビングデザイン	2～6		美術	美術概論	2～6
	服飾文化	2～6			美術史	2～6
	被服製作	2～20	素描		2～6	
	ファッションデザイン	2～6	構成		2～6	
	服飾手芸	2～6	絵画		2～6	
	フードデザイン	2～6	版画		2～6	
	食文化	2～6	彫刻		2～6	
	調理	2～20	ビジュアルデザイン		2～6	
	栄養	2～6	クラフトデザイン		2～6	
	食品	2～6	映像メディア表		2～6	
	食品衛生	2～6	環境造形	2～6		
	公衆衛生	2～6	鑑賞研究	2～6		
24単位以内選択			24単位以内選択			
看護・福祉コース			総合コース			
看護・福祉			情報・体育・英語			
教科	科目	単位数	教科	科目	単位数	
看護	基礎看護	2～6	情報	情報産業と社会	2～6	
	看護基礎医学	2～6		課題研究	2～10	
	成人・老人看護	2～6		情報実習	2～10	
	母子看護	2～6		情報と表現	2～6	
	看護臨床実習	2～10		アルゴリズム	2～6	
	看護情報処理	2～6		情報システムの開発	2～6	
	24単位以内選択			ネットワークシステム	2～6	
福祉	社会福祉基礎	2～6	体育	モデル化とシミュレーション	2～6	
	社会福祉制度	2～6		コンピュータデザイン	2～6	
	社会福祉援助技術	2～6		図形と画像の処理	2～6	
	基礎介護	2～6		マルチメディア処理	2～6	
	社会福祉実習	2～10		24単位以内選択		
	社会福祉演習	2～6		体育理論	2～6	
	福祉情報処理	2～6		体づくり運動	2～6	
24単位以内選択			スポーツ	2～6		
			スポーツ	2～6		
			スポーツ	2～6		
			ダンス	2～6		
			野外活動	2～6		
			24単位以内選択			
			英語	総合英語	2～6	
				英語理解	2～6	
				英語表現	2～6	
				異文化理解	2～6	
				生活英語	2～6	
				時事英語	2～6	
				コンピュータ・LL演習	2～6	
			24単位以内選択			